

- 「少人数ながらもイベントや活動が多く、生徒が楽しんで取り組んでいる。」(5年保護者)

教職員の声

- 「素直さと幼さが強み。一方で、大人びていない分、向上心や根気強さに課題を感じることもある。」
- 「大人が多いので、すぐに助けてしまう。どんな距離感で関わるかを職員間で一貫して実践する必要がある。」
- 「帰りの会でがんばっていた人を認め合う場を設定し、自己肯定感を高める工夫をしている。」

教育課題と改善に向けた視点

アンケート結果からは、今後の教育活動で重点を置くべき課題(教職員の視点)

● 基礎学力の定着

教職員より、学習意欲のばらつき、家庭学習習慣の欠如、語彙力の少なさが指摘が多くされています。自信のなさが、学力の基盤不足に起因しているとの分析もありました。

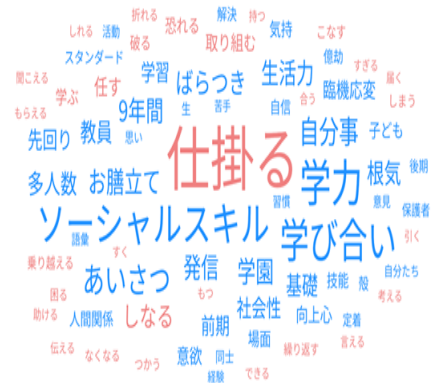
● 発信力と主体性の欠如

「自分の意見を言葉にするのが苦手」「全体の前で話す際に声が小さい」といった課題。「教員や保護者任せ」な側面があり、自分で考えて行動する力がまだ弱いと感じている教職員が多いことがわかりました。

● レジリエンス(乗り越える力)の不足

失敗を過度に恐れる、変化に弱い、困難に直面した際に折れやすいといった傾向を感じている教職員が多く、大人が先回りして助けすぎる環境(過干渉)への懸念が浮き彫りにされました。

23 弱みを解決する具体的な手立てとは



具体的な改善策(教職員の提案)

- 基礎力の強化 個別の学習支援、読書による語彙拡充、ソーシャルスキルトレーニングの実施。
- 外部刺激の導入 地域の人や他校との交流を増やし、社会性を発揮する場面を広げるしていく。
- PDCA サイクルの自走支援 成功も失敗も経験させるために、教員が手を出しすぎず、見守る姿勢を徹底していく。
- キャリア教育の再定義 目標を「つながる力」から「乗り越える力」へとシフトし、困難に立ち向かう姿勢を育成していく。

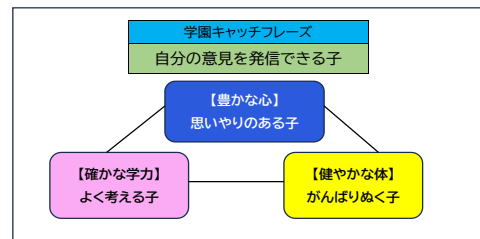
次年度に向けて

鳥屋学園は、「縦のつながり」と「温かな人間関係」を基盤に、学園生の安心感と社会性を着実に育てているため、今後も、この地域から支援や心理的安全性を維持しつつ、学園生が自らの力で困難を乗り越え、自信を持って社会へ羽ばたけるような教育活動の仕掛けを考えていきます。

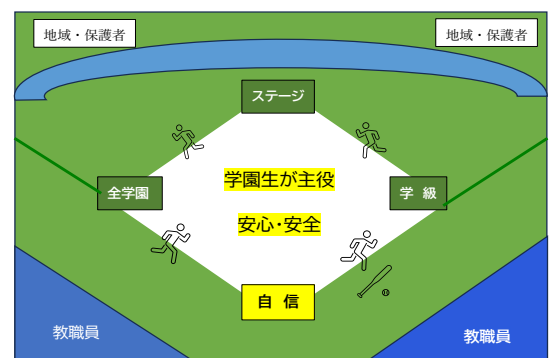
「基礎学力の確実な定着」と「自立した主体

性の育成」に重点を置いた教育活動の進展へ

II 学園キャッチフレーズ 《めざす学園生像 自分の意見を発信できる子》



III 学園ベース 《めざす学園像 学園生が主役・安心・安全で自信が生まれる学園》



ミニトピックス

【シャッターアート】

相模原市消防団津久井方面隊第6分団第1部の詰所に、文化部の作品がシャッターアートとして採用されました。お近くを通る際、是非ご覧ください。



鳥屋学園 3月の主な行事

3/2 (月)	性教育週間 ~6日	3/11 (水)	【1,2校時】卒業証書授与式
3/3 (火)	【朝】学園生集会 【2校時】合同音楽	3/17 (火)	【朝】学園生集会 【3校時】1ステ校外学習 (諏訪神社)
3/4 (水)	森のひろば	3/18 (水)	給食最終 【5校時】わかばっ子委員会活動⑩
3/5 (木)	【2校時】卒業式会場準備 (5~8年) 【3校時】卒業式在校生練習	3/23 (月)	【4校時】大掃除
3/6 (金)	【朝】わかばっ子タイム (1~9年) 【1,2校時】卒業式予行練習 【昼】評議会⑧	3/24 (火)	【1校時】前期課程修了証書授与式
3/9 (月)	【2校時】性に関する指導 (9年)	3/25 (水)	【1校時】修了式 【3校時】退任・離任式
3/10 (火)	【1校時】卒業式全校練習 【5校時】卒業式前日準備 (7,8年)	3/26~4/6	学年末・学年始休業

【鳥屋GAKU】

2月24日の午前には間もなく卒業を迎える9年生を送る会が開かれ、楽しく遊んだあと、在校生は感謝の気持ちを伝えることが出来ました。

午後からは「鳥屋GAKU」が行われ、1,2年生は「できるようになったこと」、3年生は「津久井大豆」、4年生は「エコ」、5年生は「食」、6年生は「祭」、7年生は「防災」、8年生は「見識」、9年生は「貢献」をテーマに、1年間に学んだことを発表することが出来ました。

たくさんのご参観をいただき、また保護者会へも多数ご参加いただきまして誠にありがとうございました。

